

保護者の皆さまへ

手洗い、うがいの励行を！

新型インフルエンザ様症状(疑い)が発生

保護者の皆さんもご承知のとおり、8月28日に本別町立本別中央小学校において2名の児童が医療機関でインフルエンザA型と診察されました。

新型インフルエンザであるか否かの判定については、現在、PCR検査が義務付けられておらず、インフルエンザA型の場合は新型インフルエンザ疑いとして取扱うこととなっています。このことから、本別町教育委員会では、本別中央小学校の6年生2名を新型インフルエンザに感染した可能性が高いと判断し、同校6学年の1学級を8月31日から9月3日までの4日間、学級閉鎖することとしました。

インフルエンザA型に感染した2名の児童は、自宅療養し容体も安定しています。感染先は不明であります。同じクラスに所属しています。

インフルエンザの最大の予防策は、「手洗い・うがい」であります。石鹸で手をよく洗うことによって、インフルエンザ菌は水に流されますし、うがいをするによって口内に付着した菌も体外に排出されます。各ご家庭におかれましては、手洗いとうがいの励行をお願いいたします。



また、各学校におきましても、一般の方々が出入りする玄関(教職員・来客用玄関)に消毒器(液)を設置するなどの方策を講じています。保護者の皆さまにおかれましても、学校に出入りする際は、教職員・来客用玄関を利用し、必ず手の消毒をお願いいたします。

保護者の皆さんにおかれましては、引き続きお子さんの健康観察に注視するとともに、医療機関でインフルエンザA型と診察された場合は、直ちに学校への連絡をお願いします。また、保護者自身も風邪ぎみで高熱が出た場合は、速やかに医療機関で受診しましょう。

インフルエンザの受診方法や予防についての詳細は、町が各自治会を通じて別途お知らせすることになっています。

「感染は自分が止める」という気持ちをもって、今後の流行期を乗り越えていけるよう、今後ともご協力をお願いいたします。